

2016年度第3回NPO法人共同保存図書館・多摩理事会

- 1 日 時：2016年8月1日（月） 午後6時30分から午後9時
- 2 場 所：立川市柴崎学習館（立川市柴崎町2-15-8） 第1教室（地下）
- 3 議決権のある理事：8名、出席理事：7名
出席者：座間直壯、齊藤誠一、田中ヒロ、手嶋孝典、平山恵三、堀渡、矢崎省三
欠席者：清田義昭
事務局：

4 報告及び協議事項

(1) 第1号議案 会員の動向について【報告】

- ・2016年8月1日現在

正会員91名3団体 賛助会員40名1団体 計135名である。(前回と変わらず)

(2) 第2号議案 多摩デポ通信第39号について【報告】

- ・紙面はほぼできて、執筆者等に確認を求めている段階である。版下を確定し8月5～6日ころに印刷・発行する予定である。

- ・館長会全体会でTAMALASを紹介（理事長の巻頭言）
- ・国立国会図書館の蔵書デジタル化計画について……多摩デポ講座への参加の呼びかけ
- ・通常総会及び記念講演会の報告、総会記念講演会を聞いての感想（大澤正雄氏）
- ・カーリルとの共同研究（その7） TAMALASの公開
- ・西東京市の依頼で除籍候補資料の他市所蔵調査をしました
- ・アナトリア便り（会員 麓常夫氏の海外ボランティア便り）
- ・「よみうりたま手箱」に連載コラム開始の報告記事

- ・多摩デポ講座の案内チラシを同封

- ・連載「たま手箱」の既発表分（4回）および『知恵の樹』202号巻頭言の印刷・同封

※定款変更が東京都から承認されたら、定款全文を会員に送付したいと考えているが、今号には間にあわなかった。

(3) 第3号議案 第26回、第27回多摩デポ講座について【報告】

- ・第26回講座 「国立国会図書館の蔵書デジタル化計画とまちの図書館、読書の未来」

講師 国立国会図書館電子情報部電子情報企画課職員

日時 8月30日（火） 午後6時30分開場 6時45分開始 質疑を含め午後8時30分まで

会場 国分寺労政会館 第2会議室（3階） 定員40人の会場

参加費 無料

講師料は国立国会図書館の講師派遣の規定により受け取られず、交通費実費のみお渡しする

※現在まだ、講師派遣の文書やりとり中だが、このように決定し、広報にかかるところである。

- ・第27回講座 「『多摩六都』の図書館連携の伸展と共同保存」（仮題）

→ 北多摩では範囲が広すぎるので、固有名詞として「多摩六都」を使う。

講師 北多摩5市の図書館長による小講演とパネルディスカッション

(北多摩5市のうち、西東京市、東久留米市、清瀬市、東村山市の、小平市以外の4市の図書館長は、司書有資格館長で長年、図書館作りに実績を残されているが、揃って今年度で退職となる。皆様に集まりいただきお話しを聞く)

日時 11月上旬 会場 未定

※5館長とも企画に賛同され出席される予定で、湯沢館長に取りまとめをしていただいている。多摩地域の図書館全体とそこに勤める後輩たちへ、語り残すメッセージをいただく。

今月後半から来月初めには、企画や日時の詰めをしていく予定。

(4) 第4号議案 (株)カーリルとの共同研究について【報告・協議】

- ・調布市の深大寺分館の除籍作業で、実証実験を行った件について

6月17日午後3時から調布市の深大寺分館で、実際に出た除籍予定本をTAMLASを使って多摩地域内の所蔵状況を調べる実証実験を行った。カーリルから吉本氏、ふじた氏、多摩デポから座間、堀、齊藤、そして調布市の小池館長が参加した。

85冊を処理、検索の結果多摩地域で最後の2冊以下に該当した資料は5冊であった。処理はストレスなく連続的に実施することができた。いくつかの改善点(2冊以下の結果が返ってきた時の警告音や画面表示の工夫等)を見出すことができた。また運用マニュアルの作成についても検討することとなった。

- ・現在のTAMARASの精度向上の課題について、見せ方・使いよさの向上について

カーリルとの定例打ち合わせや、深大寺分館での実証実験を通して、TAMALASの細部の改良について検討している。改善点を整理しシステムに反映することを課題とし、TAMALASの完成形をめざす。

- ・TAMALASの英語名について

TAMALASは通称であり、その元になる正式な英語名を確定する必要があった。その意を表した英語名を模索したが、適切なものを提起できなかった。国立国会図書館の依頼で『カレントアウェアネス』の原稿を執筆する中で、TAMALASの名のいわれを説明する必要があり、「Tama(多摩)地域でLast(最後)の本という意味」の通称、とした。今後も特に英語名は示さず、この説明を示すことにしていきたい。

- ・西東京市の除籍候補資料の検索を、TAMALASの大量機械処理で行った件について

西東京市から依頼があった資料の件数は、検索時で7,240件(うちISBNあり6,221件、ISBNなし1,019件)である。このうちISBNありの資料については大量機械処理で作業を行った。

処理には夜間(約5時間)を使い、3日間を要した。この作業中でシステムが稼働していない図書館や何らかの原因でシステムに繋がらなかった図書館があり、完全に正確な結果ではないが、第一次結果として0冊78件、1冊117件、2冊159件という数値が出た。今回は繋がらなかった図書館があるので、再度全データを検索にかけ、より確実な検索結果を得る予定である。

- ・ISBNのない資料の同定識別という、今年度の研究の課題について

西東京市から依頼のあった除籍候補資料には、ISBNなしの資料が1,019件含まれていた。これについては、東京都の統合検索を使って多摩地域で最後の2冊以下の資料の検索作業を行った。この結果、各図書館が格納している書誌データの精度にばらつきがあり、図書館員による同定識別にも大きなハードルがあることがわかった。この検索作業をする中から出てきた、同定識別を行う上での注意点を整理し、カーリルと共有しながら、「ISBNなし資料」の将来の機械的な同定識別の可能性を追求していきたい。

(5) 第5号議案 西東京市の除籍候補資料の検索調査について【報告・協議】

(第四号議案参照)

- ・7月初旬、7244件の検索を依頼され、西東京市からデータが送られた。
- ・ISBNのない資料データ(1,019件)は、東京都立図書館の統合検索を使い、事務局およびボランティア(検索経験会員)による検索を実施した。
- ・将来の機械的な同定識別の研究開発のための基礎資料となるもの、との位置づけで、ダブルチェックを行うこととし、13人で各人50件~219件を分担し、作業に取り組んだ。

除籍候補資料の検索で、多摩地域で他の所蔵が5自治体以下のタイトルについては自治体名を記入し、2人の担当が出した結果を付け合わせた。判断が分かれたものは、判断基準の揺れ、検索キーによる結果の違いなどの検証を続ける予定である。(西東京への回答は、所蔵自治体3以上は×で表示してお返しする)

- ・同定識別の問題点、検索方法の留意点なども上がってきており、今後に生かしたい。また、この作業をしながら、現物がない中で同定識別をすることには限界があると感じた、ISBNなしの資料だけでも共同保存することを追求できないか、との意見も出た。
- ・西東京市への検索調査の回答は、8月2日にお返しする予定である。

(6) 第6号議案 TAMALASの普及活動について【報告・協議】

- ・7月20日に行なわれた、東京都市町村立図書館長協議会で、予定議題終了後、時間を取ってもらい、座間理事長がTAMALAS(多摩地域公共図書館蔵書確認システム)の紹介を行った。
- ・時間が限られ、予定していた検索の実演はできなかったが、説明し、これまでに使っていた館長や職員の反響なども出していただき、使うことの促しをすることができた。
- ・今後、ブロック単位くらいで、実演や説明の機会を開いていきたいという提案にも、館長間の理解をいただいた。
- ・実演や説明の会の実現について、具体的な調整を図っていきたい。

(7) 情報交換

【多摩デポ関係記事・論文】

- ・「多摩デポとカーリルの共同研究成果：TAMALASの公開」齊藤誠一、吉本龍司著(『カレントアウェアネスE』 No.308 2016.07.28)

【共同保存図書館関連論文】

特になし

【読売新聞 多摩版コラム「週刊たま手箱」】

- ・読売新聞6月15日 「移動図書館 役割は続く」手嶋孝典
(次回、次々回のコラム案は入稿済みだが、紙面が空かないので掲載が延びている)

- ★ 次回の理事会 10月14日(金) 午後6時半 立川予定
- ☆ 次回の事務局会議 8月6日(土) 調布市、たづくり11階 みんなの広場
- ★ 共同研究定例会 9月20日(火) 午後6時30分 調布市、たづくり会議室(予定)

5 議事録署名人の選任

議事録署名人として2名を選任することを諮り、手嶋孝典理事と平山恵三理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2016年8月1日

議長

議事録署名人

議事録署名人